

# 事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部長寿介護課		■担当係	高齢福祉係
■評価事業名称	ふれあいデイサービス事業			
■事業開始年度	平成12年度			
■評価事業コード	043100 - 052	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	02 高齢者や障がい者などの自立した生活への支援		
	■施策	02 高齢者が活躍できる場の確保		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	社会参加を促進し、孤独感の解消及び住み慣れた地域での自立生活の助長を図る。ひとり暮らし高齢者等に対し、自治公民館等を活用し介護予防の取り組みや啓発など各種サービスを提供			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成28年度事業計画	平成28年度事業量実績
01	ふれあいデイサービス事業	在宅高齢者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全行政区 138ヶ所</li> <li>・述べ開催回数 1,950回</li> <li>・述べ利用者 30,000人</li> <li>・地域の協力者述べ 9,600人</li> <li>・合計参加者 38,800人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全行政区 138ヶ所</li> <li>・述べ開催回数 1,863回</li> <li>・述べ利用者 26,626人</li> <li>・地域の協力者述べ 9,508人</li> <li>・合計参加者36,134人</li> </ul>

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費	10,548	10,927	11,215	11,024	
人件費	687	537	149	75	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	11,235	11,464	11,364	11,099	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01	ふれあいデイサービスの開催回数	1,944回	1,921回	1,884回	1,863回	H24より1回/月を予算化、125行政区(138力所)すべてで実施
02	参加者数	38,781人	37,989人	37,404人	36,134人	
03	介護認定率	18.4%	18.4%	18.6%	18.5%	要支援・要介護認定者数/第1号被保険者数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

市内125行政区138箇所の自治公民館等を活用し、介護予防教室やレクリエーション、教養講座の取り組みを提供している。サービス開催回数と参加者数は若干減少してきているが概ね順調である。

問題点・課題等

月1会程度の参加では、介護認定率の減少をはかることは難しい。高齢者人口が増加することを踏まえ、元気高齢者が担い手になるなど取り組むへの支援が必要。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

高齢者が生きがいを持ち、地域住民とふれあい、社会性を持ち続けられるよう、高齢者が参加できる場づくりは必要であるため、事業の継続が望まれる。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了